

第3回武田薬品工業株式会社湘南研究所の環境保全協定に関する連絡会議議事要録

- 1 日 時 2011年（平成23年）11月10日（木）
13時30分から14時40分頃まで
- 2 場 所 武田薬品工業株式会社湘南研究所CS棟2MF会議室
- 3 出席者 村岡地区自治町内会連合会、小塚町内会、小塚東町内会、高谷町内会、
宮前町内会、渡内町内会、渡内北町内会及び渡内西町内会の代表（7名）
武田薬品工業株式会社湘南研究所、研究業務部、エンジニアリング部及び
総務人事センター職員（7名）
藤沢市役所環境保全課、保健所生活衛生課及び土木維持課職員（6名）

4 内 容

(1) 藤沢市からの報告

藤沢市 第2回連絡会議以降に藤沢市に寄せられた要望等について、ご報告いたします。

9月議会において市民団体から、連絡会議の傍聴を求める陳情が出されました。この陳情については、市議会厚生環境常任委員会で審議した結果、趣旨不承となっております。

また、同じ団体から藤沢市長宛に、連絡会議の傍聴を認めること、議事要録の発言者は町内会名を記載すること、村岡自治町内会連合会のすべての町内会が参加できること、の要望書が提出されました。

さらに議員1名から、連絡会議の傍聴を認めること、武田薬品工業が実施する環境モニター制度のモニター員を増やすこと、研究施設のレンタル化を中止すべきである、とのご意見をいただきました。

町内会 前回の議事要録を回覧した後、町内会の住民から、連絡会議の出席者を複数名にすること、傍聴を認めること、とのご意見をいただきましたのでお伝えいたします。また、藤沢市議会報では、陳情が趣旨不承となっていました、この経緯と市の考え方を教えてほしい。

武田 研究所にも近隣の主婦の方から、①傍聴を認めること、②連絡会議開催にあたって事前に意見を述べる機会がほしい、③議事要録をみてもよくわからない部分があるので武田から説明してほしい、とのご要望をいただきました。

2点目の意見聴取につきましては、運営の仕方に関することですので事務局である藤沢市に調整をお願いします、3点目はいつでもご説明いたします、と回答いたしております。

藤沢市 議会陳情につきましては、環境保全に関することなど連絡会議で話し合われていることを直接聞きたいので、傍聴を認めることを市議会から藤沢市に働きかけてほしいとの内容です。藤沢市といたしましては、連絡会議の事務局という立場ですので、いただいたご意見等はこの会議にお伝えし、皆様からご意見

を伺うと共に、運営方法等についてご判断いただいているとの説明を議会にいたしました。その結果、藤沢市議会としては趣旨不了承としたものです。

町内会 議事要録を見たかたがご意見を言うてくるわけですが、先程のような意見だけではなく、現状の運営方法で良いと言われるかたもおられる。

町内会 武田から説明を聞きたいというお話しを受けました。本当に不安なことがあれば町内会を通じて武田に説明をお願いするとお話ししたら、わかりましたということでした。

連絡会議の運営方法は、従来どおりとすることとした。

(2) 武田薬品からの報告

ア 近況報告

移転の状況ですが、震災の影響により若干遅れていましたが、10月末で人と機器類の移転がすべて完了し、11月からフル稼働に入りました。

湘南研究所敷地周辺の清掃活動をさせていただいておりますが、1回目を7月4日に行いました。11月は対象を広げまして、周辺すべてと旧女子寮を行っていません。落ち葉の時期なのでそれらを重点的に行いました。今後も定期的な行事として行っていこうと考えています。

なお、従業員の家族からどんなところで働いているのか見たいという要望があり、11月26日の土曜日に家族向け見学会を行います。大勢来て交通等の面でご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしくお願ひします。

一般見学については、現在検討しております、1月以降準備が整い次第実施していこうと考えています。

イ 環境モニターアンケートの結果概要

環境モニターについては、鎌倉市のかたを含めて14名にお願いしています。環境に関して何か気づいたことはないかと、アンケート形式でご意見を伺いました。また、10月29日に環境モニター員にお集まりいただき、アンケート結果の説明を行いました。いただいたご意見については配付した資料にもありますように、台風後の清掃など後手に回った対応もありますので、こういうことがないようにまいります。

ウ 環境測定

環境測定のスケジュールについて、排水は月1回は必ず行います。排気については9月と3月の年2回、騒音と振動は7月、9月、12月及び3月の年4回行います。臭気は、臭いを一番強く感じられる夏場の8月に行います。

これらの測定結果は1年間分を取りまとめて、藤沢市に報告いたします。また、皆様がたにもお知らせいたします。年度としてまとめますので、時期としては5月

頃を考えています。排水であれば項目名、法令基準、管理目標、測定頻度、最大値と最小値を表示してご説明しようと考えております。

次に4月から半年間の測定結果を説明します。

排水は、前回もお伝えしましたが、当初亜鉛が管理目標を若干超えましたが、その後は下回る値で安定しています。それ以外の項目も不検出あるいは管理目標を下回っております。

排気は、窒素酸化物、ばいじん共に管理目標を大きく下回っております。

騒音は、7月と9月に敷地の境界6か所で行いました。騒音の測定では、敷地外の自動車や電車の音は除外して評価しますが、7月は蝉の音が、9月は虫の音が切れ目無く続いていたため除外できず、管理目標を若干超えた場所や時間帯がありました。

振動は、管理目標に対して十分低い値でした。

臭気は、敷地境界の東西南北4地点で測定しましたが、管理目標内でした。

エ 大気自主調査

二酸化窒素の自主調査につきましては、ボイラーや常用発電機から排出されるためその影響を調べているものです。季節ごとに5回実施する予定で、3回目の7月に実施した結果が出ました。冬場に高く夏場に低いという通常の傾向が出ており、藤沢市役所の結果とほぼ同じように環境基準よりも低い値で推移していますので、大きな影響を与えていないものと考えております。

第1回目の1月の調査というのは、この施設が稼働する前ですので、来年1月に実施する調査と比較できると考えております。もし大きな影響出た場合は対応を図ることを考えますが、あまり差がない場合は、煙突出口だけの濃度管理を行っていく予定です。

オ 共同研究ラボの概要説明

先程藤沢市からの報告にもありました共同研究ラボについてですが、社内では、インキュベーションラボと言っております。施設が新しく充実しているため共同研究をされるかたを招き入れて共同研究していこうというものです。目的としましては、武田の研究者が持っていない技術やアイデアを持つ研究者や大学の先生と新規な創薬研究をしていこうというもので、あくまでも共同研究です。共同研究ですので当然契約を結んで運営してまいります。その中で環境安全対策として国内法令、環境保全協定を守ってもらうことになり、さらに武田の社内ルールも守っていただかなければなりません。その指導については、武田が責任を持って行ってまいります。

全く違う組織が、何の約束もなく勝手にやるということはありません。また、レンタルラボとかフリーで貸し出しするというものでも決してありません。

カ その他

鎌倉市での7月の連絡会で、危険物倉庫に対する質問がありましたので、ここで

説明させていただきます。

危険物倉庫は、コンクリート製の頑強な不燃構造の地上1階の建物で、耐震性能は上級となっております。消防法に基づく検査も行われました。中に入れるものは、試薬メーカーが運んできた有機溶媒や試薬類で、研究棟に運ぶまでの一時置き場となります。また、実験で使って不要になった有機溶媒を処理業者に渡すまでの一時置き場として利用いたします。

安全対策は、消防法に基づく有資格者が管理・運営しており、施錠により関係者以外立入出来ないようにしています。万一こぼれたとしても、外に漏れ出さない安全設備を設けてあります。保管する量についても、消防法による許可を受けた範囲の中で運用しており、消防署による定期的な立入検査も受けております。

(3) 質疑等

町内会 バスの運行が変わって、朝は藤沢駅から武田止まりが出来た。夕方は、武田発藤沢行きというのはないのか。

武田 夕方に2便あります。本格稼働にあたって江ノ電バスに通勤時間帯の増便をお願いしたところ、増便していただくことが出来ました。

町内会 通勤者は大船からと藤沢からでは、どちらが多いのですか。

武田 6対4くらいで、大船利用が多いです。

町内会 ミニバスはどうですか。

武田 ミニバスの運行については江ノ電に聞いてみます。

町内会 新しいミニバスは、座席数が少ないのでラッシュ時には大変なので避けたほうが良い。いずれにしても新駅が出来れば解決するので、早くつくってほしいですね。

町内会 ボランティア清掃について、藤沢市全体で年1回、村岡地区では独自に年2回やっています。前回もお話ししましたが、武田もそれに合わせていただけると良い。日曜日に出てくるのは大変でしょうから、その前の金曜日頃にやってもらうといいのでは。村岡地区は、落ち葉の時期の12月18日にやる予定です。

武田 承知しました。日程については、検討させていただきます。

町内会 先程もお話がありましたが、町内会の皆様からいろいろな意見を寄せていただければ、町内会長としてこの場で報告ができていいのですが、町内会長に言いにくいという人もいますので、武田に土日夜間含めて対応窓口の電話番号がありますが、そこも活用できます、とも言っています。そのような対応でかまわないですか。

武田 結構です。

昨日来られたかたは、会社へ電話をするのは結構勇気がいるので、アンケート形式でもいいから意見を聞く姿勢を示して欲しいと言っていました。色々なチャンネルがあった方がよいということだとも思います。

町内会 自分が思っていることを電話で質問すれば、武田も答えてくれる。市に言ってもよい。

町内会 町内会長に言うより、その方がかえって言いやすい人もいると思う。あと、憶

測で言われると私達はなかなか捉えられないので、具体的に言ってきてくれるといい。町内会 環境モニターのアンケート結果に、騒音がうるさいとあるのですが、どのあたりですか。私は聞こえたことがない。

武田 敷地近くの鎌倉の方ですが、寝ているとき、静かにすると高い音がする。ご家族でも聞こえる方と聞こえない方がいるとのこと。鎌倉市、藤沢市と一緒に調査しましたが、原因がはっきりせず、後日再確認の予定です。

町内会 我々の町内会では、音の話は無い。

武田 騒音といっても大きな音ではなく、耳をすますと聞こえて、それが気になると言っておられます。

環境モニターの方に、一緒に周辺を回って聞いていただいたのですが、結局その音を特定できませんでした。

町内会 研究所の見学は、1月から受け入れるということですか。

武田 今、大学関係者などいろいろな所から見学希望をいただいております。子供の科学離れがいわれていますので、子供達に来てもらって科学に興味をもってもらえるような見学コースを設定したいと考えています。現在、その見学コースの内容等を検討しているところです。

町内会 3月くらいであれば小学生も休みに入るし、一般の人も見学できるので、一度お願いしたい。工場見学が、今ブームになっています。見てもらうことによって、皆さんに理解していただけたと思います。

町内会 湘南工場ときは、夏休みに子供向けに見学会があったので、子供向けの見学も配慮してほしい。

武田 湘南工場は、見学者を意識した設計になっていました。世間一般で研究所の見学会をやっている所は殆どなく、研究所にこれほどの見学希望者が出るとは思っていませんでした。その中で作ろうとしているので、苦労していますが、医薬品の研究とはどういうことなのか、少し施設も見ていただきながら説明する、といったイメージで考えています。見学については、30名くらいの団体でと考えていますが、ご近隣の皆様の見学については、別途相談させていただきたいと思います。

町内会 移転が完了したとのことですが、人はこれから増えることがありますか。

武田 今後は増えないと思います。共同研究ラボについても、せいぜい数十名程度です。現在、研究者が1,200名、スタッフが600名おります。

町内会 共同研究ラボは、大学の研究室が中心ですか。

武田 大学がメインとなります。あとは、ベンチャービジネスです。

こういったことは、他の企業でも一般的に行われています。逆に武田が大学へ行って共同研究するということもあります。

町内会 武田の研究者も一緒に研究作業を行うのですか。武田以外の方が単独でやるということはないですか。

武田 契約内容にもよりますが、何らかの形で武田の研究者が協力し、武田薬品として管理することになります。

藤沢市 他に質問などはありますか。無ければこれで終了いたします。次回はいかがい

たしますか。

武田 測定データがまとまるのが5月頃なので、その後すぐにやらせていただきたい
と思います。

藤沢市 町内会はいつ頃がよろしいのでしょうか。

町内会 5月でも6月でもかまいません。

藤沢市 その頃、日程調整させていただきます。

町内会 議事要録は、出来るだけ早くお願いします。

藤沢市 承知しました。